

学校だより原稿

着任のご挨拶

校長 皆川 勝

4月1日より校長として赴任いたしました。私は、これまで東京都市大学の教員として40年間の務め、最後の3年間は副学長として都市大の教育全般を担当いたしました。特に、この10年ほどは、学生の主体的な学び、知識獲得のみではない総合的な人間的な成長の実現のための高等教育の役割などについて、教育改革案を提案してその実現に努めてきました。

私の専門は都市工学ですが、英語ではCivil and Urban Engineeringといわれるように、「市民・社会のためにどのように工学を活用するか」という学問分野であり、理系と文系の融合した分野です。ですので、特に「理系の人材における文系的な知見・センス」、「文系の人材における理系的な知見・センス」の重要性を考え続ける立場でもありました。そのような経験から、生徒たちには、何事にも知的好奇心をもって前向きに取り組むことの重要性を説いてゆきたいと思っております。

本校の建学の精神は「公正・自由・自治」です。自由にはいろいろな意味があります。英語では、freedomは「拘束からの自由」を、libertyは「選択の自由」を意味します。また、オーストリアの精神科医・心理学者であるヴィクトール・フランクル（1905-1997）も自由の意味を教えてください。彼とその家族はユダヤ人としてアウシュビッツ強制収容所に収容され、すべての家族を失いましたが、本人は生き残りました。フランクルによれば、人間は「何かからの自由」と「何かへの自由」という二つの自由性を有しており、特に後者の自由は良心に基づいて行動することの「選択の自由」であり、これこそが人間の人間たるゆえんであるとされています。

生徒ひとりひとりが大きな「選択の自由」、「何かへの自由」を得られるように、別の言い方をすれば、グループ歌「夢に翼を」における、「翼」を持つことができるように、先生方・保護者の皆様と協力させていただき、尽力したいと思いますので、今後ともよろしくごお願い申し上げます。